

熊本県臨床工学技士会との共同開催にあたり

日本赤十字社臨床工学技士会 会長 熊谷 誠

日本赤十字社臨床工学技士会は、平成 21 年に発足してから今年で 9 年目を迎える、全国の赤十字病院と血液センターに勤務する臨床工学技士で組織されている職能団体であり会員は約 5 5 0 名です。

さて、昨年熊本県を中心に発生した一連の地震により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げるとともに、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。また、被災者の救済と被災地の復興支援のためにご尽力されている方々に深く敬意を表します。

この度、日本赤十字社臨床工学技士会の第 7 回全国研修会を平成 29 年 4 月 15 日（土）・16 日（日）の両日、KKR ホテル熊本と熊本赤十字病院において、熊本県臨床工学技士会と共同開催する運びとなりました。

日本赤十字社臨床工学技士会は全国 92 の赤十字病院や各都道府県血液センター等に務める臨床工学技士で構成されており、事業のひとつとして全国研修会を本社（東京）開催と地方開催を毎年交互に行っております。昨年 4 月 23 日（土）・24 日（日）に熊本赤十字病院での開催を予定しておりましたが、14 日からの熊本地震により残念ながら中止となった経緯があり、今年 4 月に改めて熊本赤十字病院の濱坂佳慶開催長を中心として開催の準備を進める中で、熊本県臨床工学技士会より共同での開催を提案いただきました。

日本赤十字社臨床工学技士会の理事会で検討した結果、全国組織の職能団体である恩賜財団済生会、国立病院機構、国立大学病院なども赤十字と同様に全国勉強会を開催しており、今回の熊本県臨床工学技士会と共同開催することで、赤十字ならではの活動を PR できるチャンスでもあり、また両会のコラボレーションが全国的にも初めての試みであり、やる価値があると考えました。

本研修会のテーマは「多様化する業務とその役割」です。日本赤十字社臨床工学技士会と熊本県臨床工学技士会の共同開催することで、両会にとって新しい風が吹き込まれ、「多様化する業務とその役割」について、おおいにディスカッションが盛り上がることを期待しております。